

ABSOLUTE 58 FLY

アブソルート 58 FLY

文=編集部 写真=矢部洋一
text by PB, photos by Yoichi Yabe

従来のシリーズもデッキハウスのガラス面積は大きかったが、このモデルは、ガラス張りに近い状態。舷側に占める大型異形舷窓の面積も相当なものだ。居住性の良さは、外観からも一目瞭然である

最新モデルらしい
進化が見られる一艇

2017年のニューモデル

かつてイタリアの中小型艇市場で人気のブランドだったゴッビ(Gobbi)が、大手ポートビルディンググループに吸収された際、同社を離れた人々によって、2002年に創設されたのがアブソルート社である。歴史あるビルダーが多いイタリアで、設立から15年はきわめて若いビルダーだが、その背景には、1967年に始まるゴッビの歴史が存在している。

アブソルートの現行ラインアップは、40～73フィートクラスの16モデル。中核となっているのはフライブリッジシリーズ。2017年10月現在、9モデルで構成されている。

アブソルート58FLYは、2017年のニューモデルとして5月の香港ポートショーを皮切りに、各地のショーで公開されたが、カンヌではもちろん初の出展である。

サイズ的には、従来のラインアップにおける56FLYと60FLYの中間だが、このモデルが登場したことにより、56～60フィートのレン

ジは、呼称全長ベースで2フィート刻みという、きめ細かいラインアップになった。

ちなみに、56FLYも60FLYも、デビューは2014年(ただし、56FLYは2013年発表、60FLYは2014年発表)。58FLYがこれらのどちらか、あるいは両方と入れ替わるには、まだ早いと思うが、将来的なラインアップ変更のための布石という可能性はある。

カンヌヨットでアブソルート社は、2018年のフラッグモデルとしてナベッタ73を展示発表したが、同艇は次号でたっぷり紹介するとして、ここでは我が国のマーケットのコアサイズといえる同社の新艇、アブソルート58FRYを紹介することにしよう。

ユーザーフレンドリーな内装

58FLYは全長17.24メートル、全幅4.80メートル。エンジンが後ろに設置しているため居住スペースが広く、実際に船内に入ってみるとその広さはひとクラス上のイメージが



上:中速域、巡航速域で、安定した走りを求めるユーザーにとって、おそらく最も心地よいクルージングが可能となるモデルである
下:フライブリッジは、そのヘルムステーション脇に大型サンパッドを設けるのが、従来と変わらないアブソルート流のレイアウトだ

フライブリッジでの操船も操作性、視界共によく、左舷側にあるドライバー席のすぐ横にソファがあり、家族や仲間とのコミュニケーションがスムーズに取れるようになっている。

キャビンは、3ステートルーム・ギャレーアップ。デッキハウス内は、ギャレーを最船尾側左舷に置き、反対舷にU形のダイネットをしつらえたもの。このスペースの床は、コクピットと同レベルで、段差はない。ギャレーをハウスの船尾側に置いたレイアウトは、フライブリッジシリーズの45FLYから58FLYまでの5モデルが採用している。

ローデッキは、3室のステートルームそれぞれにヘッド/シャワーコンパートメントがあるが、右舷のゲストルームのもののみ、通路側にもドアが備わる共用タイプである。

D8-IPS800を搭載

パワーユニットはボルボ・ベンタのD8-IPS800の2基掛け。D8-IPS800は、600馬力バージョンのD8ディーゼルを用いたIPSパワーユニットで、ドライブユニットはIPS15を採用。単にIPS800と呼ばれている、625馬力のD11ディーゼルにIPS2ドライブを組み

合わせたものとは異なるユニットである。

この仕様による巡航速度は約26ノット。また、最高速は31~32ノットを見込めるので、この種のモデルとしては十分な速度といえる。高速の直線航行に安定感がある一方、大型艇らしからぬハンドリングの反応も実感できた。

また、試乗時に計器で燃料消費量をチェックしたところ、2,800回転/分、29ノットで240リットル/時(2基のエンジン合計)の燃料を消費するが、13.2ノットまで落とすと、106リットル/時で済んでいた。60フィートに近いクルーザーとしては、良好な燃費である。

*

ビルダーのアイデンティティを保ちながら、新しさも感じさせる、アブソルートの最新モデルらしい一艇である。



左:フライブリッジの右舷にはU形のラウンジを設置。ヘルムステーションの後ろに設けられたグリル付きのウェットバーを囲んで、軽食などを楽しむスペースである
中:デッキハウス内は、船尾側にコクピットと同じレベルのギャレーとダイネットを配し、船首側を展望の利くサロンエリアとした、56FLYなど同系のレイアウト
右:ローデッキのミジップに設けられたマスターステートルーム。船型の関係から、両舷に近い部分の床は少し高くなっているが、基本的には天井高のとても高い部屋である



アブソルートは、例外的に1艇のスポーティーモデルがスターンドライブだが、それを除く全ラインナップがIPSを搭載。ポッドドライブに対するノウハウも豊富で、それが航走感にもフィードバックされている

浮かぶほど。広いゆえにメインサロンは明るく、視界は心地よいほど良好である。

新しく採用したハルのステムがより垂直に近いものになっていることや、船首からミジップまでつながる大型異形舷窓を装備したことで、船内の各部屋は採光が良く、特にパウに配されたオーナーズルームは解放感がある。船内の床部分は滑りにくい加工が施されていたり、木部の人が触れるところをアールにするなど安全面も考慮され、各部にユーザーフレンドリーな対応がうかがえる。



舷側はほとんど垂直。船底部分については、別な要素が重視されているようだが、少なくともチャインより上は、居住性重視という感じのハルである

INTERVIEW



アブソルート社
チェサレ・マストロヤンニ VP SALES&CCO

「アブソルート社は2002年創業以来、わずか15年で40~73フィートのレンジにおける世界で高く評価されるイタリアのポートビルダーです。その輸出先は地中海が48.2%、太平洋27.7%、その他24.2%となっております。常に新しい技術を取り入れ、効率の良い製造ラインで高品質で燃費のいいボートを建造しています。購入したオーナー様に、燃費面でも船上のグレードにしても、艇の価格以上の満足を得てもらえることが最大の私共の最大の喜びです」

燃費や質が良いため、購入価格以上の満足を得ることができます。

SPECIFICATIONS

ABSOLUTE 58 FLY

- 全長:17.24m ○全幅:4.80m
- 吃水:1.41m ○排水量:30.03t(満載状態)
- 燃料搭載量:2,000L ○清水搭載量:650L
- エンジン:ボルボ・ベンタ D8-IPS800(600PS/441kW)×2

問い合わせ:

テクノマールインターナショナル
〒336-0965 埼玉県さいたま市緑区間宮607-1
TEL.048-878-6806 <http://www.tecnomare-yachts.co.jp/>

